

予 算 要 求 資 料

令和4年度6月補正予算

支出科目 款：農林水産業費 項：農業費 目：農村教育推進費

事業名【新】農福連携推進活動緊急対策事業費補助金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

農政部 農業経営課 就農支援係 電話番号：058-272-1111(内2846)

E-mail：c11419@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 補正要求額 30,000 千円 (現計予算額： 0 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
現 計 予算額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
補 正 要求額	30,000	0	0	0	0	0	0	0	30,000
決定額	23,000	23,000	0	0	0	0	0	0	0

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

原油高、物価高騰が引き起こす農業コスト増が、農業を行う事業者の経営をさらに厳しくしており、また、生活コストの上昇は障がい者をはじめとした社会的弱者にも影響を与えている。

このような状況の中、事業者が経営安定を図るため、付加価値の高い加工品の生産等、生産物のブランド化といった販売力を強化するとともに、障がい者の雇用を拡大する取組みに対して支援する。

(2) 事業内容

農業経営体、福祉事業所等が、販売力強化を目指した商品製造に必要な加工処理販売施設・機械の整備に対し支援する。

①ノウフクJAS取得(3年以内)：3/4以内 補助金上限1,500万円

②上記①以外：2/3以内 補助金上限 500万円

- ・対象：農業経営体、福祉事業所、特例子会社
- ・要件：自ら生産した農産物の一部または全部を使い、販売力強化に取り組むこと。
生産から加工・販売までの工程において障がい者が新たに就労すること。

(3) 県負担・補助率の考え方

補助率 3/4以内、2/3以内

農業分野の経営において、障がい者の就労を促し、農業や福祉関係者、県民の理解の促進を図り、農福連携の取組みを普及・拡大するため必要があるため県負担とする。

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	30,000	
合計	30,000	

決定額の考え方

補助率を2/3とし、所要額を計上します。

財源については、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を充当します。

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

ぎふ農福連携アクションプラン、「清流の国ぎふ」創生総合戦略、ぎふ農業・農村基本計画、新・担い手育成プロジェクト、岐阜県障がい者総合支援プラン

(2) 国・他県の状況

山梨県、兵庫県、鳥取県で農福連携の整備助成事業を実施

(3) 後年度の財政負担

原油価格高騰対策に伴う単年度要求のため後年度負担はなし

(4) 事業主体及びその妥当性

農業経営体、福祉事業所、特例子会社

これらの経営体等が県内で農福連携を実践しており適当である。

県単独補助金事業評価調書

新規要求事業

継続要求事業

(事業内容)

補助事業名	農福連携推進活動緊急対策事業費補助金
補助事業者(団体)	農業経営体、福祉事業所、特例子会社 (理由) 県内の農福連携に関する取組みをこれらの事業体で展開
補助事業の概要	(目的) 農業経営の安定化と障がい者の就労推進 (内容) 障がい者が就労する農産物加工販売施設の整備支援
補助率・補助単価等	定率 (内容) ①ノウフクJAS取得 3 / 4 上限1,500万円 ②上記①以外 2 / 3 上限 500万円 (理由) 農福連携を県の重要政策として推進するため
補助効果	農業経営の安定化と障がい者就労の促進
終期の設定	終期令和4年度 (理由) 本年度中に整備を推進するため。

(事業目標)

<p>・終期までに何をどのような状態にしたいのか 農業の経営の安定と農業分野における障がい者雇用を促進することで、農福連携に取り組む主体数を129 (R2) から155に増やす。</p>

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (R)	R2年度 実績	R3年度 目標	R4年度 目標	終期目標 (R4)	達成率
①農福連携に取り組む主体数	-	129	141	155	155	83%

補助金交付実績 (単位：千円)	H30年度	R元年度	R2年度
	0	0	0

(これまでの取組内容と成果)

令和 2 年度	<ul style="list-style-type: none"> 取組内容と成果を記載してください。
	指標① 目標： ____ 実績： ____ 達成率： ____ %
令和 3 年度	
	指標① 目標： ____ 実績： ____ 達成率： ____ %
令和 4 年度	
	指標① 目標： ____ 実績： ____ 達成率： ____ %

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> 事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない 	
(評価) 3	<p>原油高、資材高騰によるコスト高が農業経営を圧迫しており、経営の多角化によるリスク分散による経営安定と、障がい者の農業分野での就労支援を図る必要がある。</p>
<ul style="list-style-type: none"> 事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり(単年度目標100%達成かつ他に特筆できる要素あり) 2：期待どおりの成果あり(単年度目標100%達成) 1：期待どおりの成果が得られていない(単年度目標50~100%) 0：ほとんど成果が得られていない(単年度目標50%未満) 	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none"> 事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている 	
(評価)	

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> 事業が直面する課題や改善が必要な事項 農福連携で製造された商品について販売拡大を図るため、認知度向上や魅力発信を展開する必要がある。
--

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか
